

令和6年度 施策評価シート(令和4年度・令和5年度評価)

評価日: 令和6年9月30日

No.3-1

まちづくりの目標		第3章 安心と賑わいのまちづくり(生活・産業部門)	評価責任者	市民生活部長
基本事項	施策名	第1節 みんなで備える防災・減災の推進	所管部署名	市民生活部危機管理課
	施策の展開	1	危機管理体制の充実	関連部署名
		2	防災・減災施設等の充実	
		3	地域における減災力の向上	
		4	災害に対する市民意識の向上	
	関連する個別計画・方針等	吉川市国土強靱化地域計画 吉川市地域防災計画 国民の保護に関する吉川市計画	施策の目的	・災害時でも、市民の生命や財産を守るため、「自助・共助・公助」が最大限に発揮されるまちをめざします。

指標名	単位	設定時の値(年度)	実績値①(年度)	実績値②(年度)	達成度	最終目標値(年度)
自主防災組織率	%	88.9	89.5	89.5	11.6% ★	94.0
		R2	R4	R5	達成度が低い	R8
自主防災会の訓練実施率	%	40.7	21.3	59.0	94.8% ★★★	60.0
		R1	R4	R5	概ね達成された	R8
住み心地をよいと感じた理由のうち、災害への備えがよいという回答の割合(市民意識調査)	%	55.7	54.7	52.5	-74.4% ★	60.0
		R3	R4	R5	達成度が低い	R8

評価方法	評価の理由・説明	評価点
評価軸① 施策の達成状況 施策成果指標の達成度の平均 ⇒ 10.7%	・達成度100%以上=4点 ・達成度80~99%=3点 ・達成度50~79%=2点 ・達成度49%以下=1点	1点
評価軸② 施策の進捗状況 <input type="checkbox"/> 順調(100%以上の達成度) <input type="checkbox"/> おおむね順調(80%以上の達成度) <input checked="" type="checkbox"/> やや順調でない(50~80%程度の達成度) <input type="checkbox"/> 順調でない(50%未満の達成度)	自主防災組織の必要性や訓練実施の重要性について、出前講座や減災プロジェクトなどの訓練を通して、周知している。新型コロナウイルスによる影響が少なくなったことで、地域の活動が徐々に活発に行われていることから、引き続き、あらゆる機会を捉えて、周知・啓発に努めていきたい。	2点
評価軸③ 市民ニーズの反映度 <input type="checkbox"/> 反映できた <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえば反映できた <input type="checkbox"/> どちらかといえば反映できなかった <input type="checkbox"/> 反映できなかった	市民の防災意識の高揚のため、減災マップの配布や自主防災組織への助成金の交付などを実施した。地域での出前講座や講習会など、様々な機会を捉えて、自主防災組織の設立や訓練の実施について周知していく。	3点
評価軸④ 施策に対する事務事業の構成 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかといえば妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかといえば妥当でなかった <input type="checkbox"/> 妥当でなかった	防災組織支援育成事業や減災対策事業など、平時からの取組を行うことは、災害が発生した時に市民の生命や財産を守るという施策の目的を達成するのに妥当な事務事業であると判断する。 ※構成する事務事業については裏面に記載	4点
施策に関する現状と課題 自主防災組織は地域によって設立の有無に偏りがあるため、地域差の解消を図ることが必要であるほか、自主防災組織が設立されている地域においても自主防災組織が実施する訓練への参加者が集まりにくいことや、参加メンバーが固定化しているといった課題がある。課題解決のため、出前講座や講習会、講演会などあらゆる機会を捉えて、引き続き、自助・共助の必要性を周知していくとともに、自主防災組織の組織率の向上、防災訓練参加者の増加を図っていく。		総合評価 評価軸①~④の評価点の平均点 3点 (4点満点中)

今後の展開	地域の出前講座や講習会など、あらゆる機会を捉えて、自主防災組織の必要性や役割を周知し、新たな自主防災会の設立を積極的に働きかけていく。また、自助・共助の必要性を周知することで、防災意識の向上を図っていく。
-------	--

令和6年度 施策評価シート(令和4年度・令和5年度評価)

評価日: 令和6年9月30日

No.3-2

まちづくりの目標		第3章 安心と賑わいのまちづくり(生活・産業部門)	評価責任者	市民生活部長	
基本事項	施策名	第2節 みんなで守る防犯と交通安全の推進	所管部署名	市民生活部危機管理課	
	施策の展開	1 防犯体制の充実	関連部署名	都市建設部道路課	
		2 交通安全意識の高揚			
		3 道路交通環境の整備			
	関連する個別計画・方針等	吉川市安全安心都市宣言		施策の目的	・誰もが安心して暮らせる犯罪のない社会をめざします。 ・交通事故のない安全なまちをめざします。
		吉川市防犯推進計画			
吉川市交通安全計画					

指標名	単位	設定時の値(年度)	実績値①(年度)	実績値②(年度)	達成度	最終目標値(年度)
人口千人当たりの市内で発生した犯罪認知件数	件	6.55	4.91	6.34	21.4% ★	5.57
		R2	R4	R5	達成度が低い	R8
人口千人当たりの交通事故(人身事故)発生件数	件	2.48	2.01	2.32	88.9% ★★★	2.30
		R1	R4	R5	概ね達成された	R8

評価方法	評価の理由・説明	評価点
評価軸① 施策の達成状況 施策成果指標の達成度の平均 ⇒ 55.2%	・達成度100%以上=4点 ・達成度80~99%=3点 ・達成度50~79%=2点 ・達成度49%以下=1点	2点
評価軸② 施策の進捗状況 <input type="checkbox"/> 順調(100%以上の達成度) <input type="checkbox"/> おおむね順調(80%以上の達成度) <input checked="" type="checkbox"/> やや順調でない(50~80%程度の達成度) <input type="checkbox"/> 順調でない(50%未満の達成度)	犯罪件数については、毎年、前年比10件程度の刑法犯認知件数の減少を目指す。 事故件数については、直近3か年平均の人身事故件数を維持するとしていた。 事故件数については、おおむね順調だが犯罪認知件数については、ほぼ横ばいであった。	2点
評価軸③ 市民ニーズの反映度 <input checked="" type="checkbox"/> 反映できた <input type="checkbox"/> どちらかといえば反映できた <input type="checkbox"/> どちらかといえば反映できなかった <input type="checkbox"/> 反映できなかった	どちらの指標にあっても現状や法改正などについて機会を捉え、市民への周知や情報配信を実施してきた。 また、道路の修繕や防犯灯の設置などの要望についても対応している。	4点
評価軸④ 施策に対する事務事業の構成 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかといえば妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかといえば妥当でなかった <input type="checkbox"/> 妥当でなかった	指標を達成するための情報配信及び道路施設の維持管理など効率的な事務執行を図る事務事業で構成されているため妥当である。 ※構成する事務事業については裏面に記載	4点
施策に関する現状と課題 自動車の運転手だけではなく、自転車や歩行者が、それぞれの立場で交通事故を起こさないとともに交通事故に遭わないようにすることが必要であり、一人一人がそのような意識を持つことが指標の達成につながると考える。		総合評価 評価軸①~④の評価点の平均点 3点 (4点満点中)

今後の展開	意識付けが大事であるため、引き続き啓発活動を実施する。
-------	-----------------------------

令和6年度 施策評価シート(令和4年度・令和5年度評価)

評価日: 令和6年9月30日

No.3-3

まちづくりの目標		第3章 安心と賑わいのまちづくり(生活・産業部門)	評価責任者	市民生活部長
基本事項	施策名	第3節 安心して暮らせる消防・救急体制の強化	所管部署名	市民生活部危機管理課
	施策の展開	1 消防組織体制の充実	関連部署名	
		2 防火対策の推進		
		3 救急・救助体制の充実		
	関連する個別計画・方針等	吉川松伏消防組合消防計画	施策の目的	・充実した消防・救急体制の下、市民が安心して生活できるまちをめざします。 ・市民の意識の向上と地域の連帯により、火災のないまちをめざします。
吉川松伏消防組合実施計画				
吉川松伏消防組合公共施設等総合管理計画				

指標名	単位	設定時の値(年度)	実績値①(年度)	実績値②(年度)	達成度	最終目標値(年度)
火災による年間死傷者数(自損行為を除く)	人	0	0	0	★★★★★	0
		R2	R4	R5	達成された	R8
防火対象物等の査察による違反是正率	%	58.0	80.5	96.0	316.7% ★★★★★	70.0
		R2	R4	R5	達成された	R8
救急車の現場到着所要時間	分	7.7	8.2	8.0	-42.9% ★	7.0
		R2	R4	R5	達成度が低い	R8

評価方法	評価の理由・説明	評価点
評価軸① 施策の達成状況 施策成果指標の達成度の平均 ⇒ 136.9%	・達成度100%以上=4点 ・達成度80~99%=3点 ・達成度50~79%=2点 ・達成度49%以下=1点	4点
評価軸② 施策の進捗状況 <input type="checkbox"/> 順調(100%以上の達成度) <input type="checkbox"/> おおむね順調(80%以上の達成度) <input checked="" type="checkbox"/> やや順調でない(50~80%程度の達成度) <input type="checkbox"/> 順調でない(50%未満の達成度)	火災による年間死者数及び防火対象物等の査察による違反是正率については、火災による死者が発生せず、違反是正率についても高く推移していることから、おおむね順調に実行できている。また、救急車の現場到着所要時間については、コロナ禍の影響や救急件数増加により順調とはいえない状況であった。	2点
評価軸③ 市民ニーズの反映度 <input type="checkbox"/> 反映できた <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえば反映できた <input type="checkbox"/> どちらかといえば反映できなかった <input type="checkbox"/> 反映できなかった	防火対象物等の是正違反については、違反是正を推進することで、安心して生活できるまちの実現を図っており、市民ニーズを概ね反映できた。また、救急車の現場到着所要時間については、救急車の適正利用を周知することで現場到着所要時間の短縮を図ったが、コロナ禍の影響や救急件数の増加による現場到着所要時間の延伸があり、市民ニーズをどちらかといえば反映できなかった。	3点
評価軸④ 施策に対する事務事業の構成 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかといえば妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかといえば妥当でなかった <input type="checkbox"/> 妥当でなかった	市民が安心して生活できるまちの実現に向け、効果的な事務事業で構成されており妥当である。 ※構成する事務事業については裏面に記載	4点
施策に関する現状と課題		総合評価
防火対象物等の違反是正率については、高く推移しているが、是正に長い時間を要する対象物もあることから、効果的な違反是正方法や先進団体の取り組み等について研究を行う必要がある。また、救急車の現場到着所要時間については、救急件数は年々増加傾向であるため、市民への救急車適正利用について普及啓発活動を継続することが重要であるとともに、R3年度より実施しているプレアライバルコール(現場到着前電話連絡)が119番通報受信に反映できるようなシステム構築が課題と考えている。		評価軸①~④の評価点の平均点 3点 (4点満点中)

今後の展開	市民が、より安心して生活できるまちをつくるために防火対象物等の違反是正率をさらに高めるよう努める。また、プレアライバルコール(現場到着前電話連絡)の実施を前提とした119番通報受信を試験的に行っており、入電から出動までの時間短縮が期待でき、救急車の現場到着所要時間の短縮に繋がると考えている。なお、救急車の適正利用についても継続した普及啓発活動により、救急件数の増加抑制に向けた取組みを図る。
-------	--

令和6年度 施策評価シート(令和4年度・令和5年度評価)

評価日: 令和6年9月30日

No.3-4

まちづくりの目標		第3章 安心と賑わいのまちづくり(生活・産業部門)	評価責任者	産業振興部長	
基本事項	施策名	第4節 消費者の安全・安心の確保	所管部署名	産業振興部商工課	
	施策の展開	1 消費者被害の防止	関連部署名		
		2 消費者団体の活動支援			
	関連する個別計画・方針等		施策の目的	・消費者の安全・安心な暮らしの確保をめざします。 ・消費者団体の活動等を通して、消費者トラブルに巻き込まれない自立した消費者が増えることをめざします。	

指標名	単位	設定時の値(年度)	実績値①(年度)	実績値②(年度)	達成度	最終目標値(年度)
消費生活センターの相談に対して解決した件数の割合	%	99.2	99.3	101.1	233.8% ★★★★	100.0
		R2	R4	R5	達成された	R8

評価方法	評価の理由・説明	評価点
評価軸① 施策の達成状況 施策成果指標の達成度の平均 ⇒ 233.8%	・達成度100%以上=4点 ・達成度80~99%=3点 ・達成度50~79%=2点 ・達成度49%以下=1点	4点
評価軸② 施策の進捗状況 <input checked="" type="checkbox"/> 順調(100%以上の達成度) <input type="checkbox"/> おおむね順調(80%以上の達成度) <input type="checkbox"/> やや順調でない(50~80%程度の達成度) <input type="checkbox"/> 順調でない(50%未満の達成度)	・成果指標の相談業務については、多様な消費生活相談に対し助言や斡旋での解決を行っており、順調である。	4点
評価軸③ 市民ニーズの反映度 <input checked="" type="checkbox"/> 反映できた <input type="checkbox"/> どちらかといえば反映できた <input type="checkbox"/> どちらかといえば反映できなかった <input type="checkbox"/> 反映できなかった	・相談に対し助言や斡旋を行い完結しており個々のニーズに対応している。また、相談は来庁のほか、電話での対応を行い利用しやすい環境に努めている。 ・出前講座実施などで市民ニーズに対応し、啓発活動と被害の未然防止に努めている。	4点
評価軸④ 施策に対する事務事業の構成 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかといえば妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかといえば妥当でなかった <input type="checkbox"/> 妥当でなかった	・事務事業の構成としては、施策の目的を達成するに十分な内容である。 ※構成する事務事業については裏面に記載	4点
施策に関する現状と課題 ・相談内容は多岐にわたり、また、悪質商法や詐欺被害が複雑・巧妙化していることから、消費者被害に遭いやすい現状といえる。消費者相談や情報提供の機会を維持し、消費者と事業者との「情報や知識の格差」を是正することで、消費者の自立を支援していく必要がある。		総合評価 評価軸①~④の評価点の平均点 4点 (4点満点中)

今後の展開	・第6次吉川市総合振興計画を計画的に推進するため、社会情勢等の変化に応じ実施計画の見直しを適宜行っていく。 ・ニーズの多様化に応じ、情報周知や相談機会の充実を行い、消費者の被害防止の支援に努める。
-------	---

令和6年度 施策評価シート(令和4年度・令和5年度評価)

評価日: 令和6年9月30日

No.3-5

まちづくりの目標		第3章 安心と賑わいのまちづくり(生活・産業部門)	評価責任者	産業振興部長
基本事項	施策名	第5節 魅力ある農業の振興	所管部署名	産業振興部農政課
	施策の展開	1	農業経営の活性化	農業委員会事務局
		2	農業・農産物のPR	産業振興部商工課
		3	農業拠点施設整備の推進	
		4	生産基盤の整備	
関連する個別計画・方針等	吉川市産業振興計画 吉川農業振興地域整備計画 人・農地プラン	施策の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・安定かつ持続可能な農業経営のもと、消費者に安全安心な吉川産農産物が安定供給されることをめざします。 ・農業生産基盤を整備することにより、生産効率の高い農業が行われることをめざします。 ・土に触れ、農業に親しむ機会等が増えることにより、市民の農業に対する関心が高まることをめざします。 	

指標名	単位	設定時の値(年度)	実績値①(年度)	実績値②(年度)	達成度	最終目標値(年度)
農業担い手による農地利用の集積・集約面積(農用地利用権設定面積)	ha	111.2	142.3	128.0	89.4% ★★★	130.0
		R2	R4	R5	概ね達成された	R8
吉川産の農産物を購入している市民の割合(市民意識調査)	%	57.1	59.2	61.5	151.7% ★★★★★	60.0
		R3	R4	R5	達成された	R8

評価方法	評価の理由・説明	評価点
評価軸① 施策の達成状況 施策成果指標の達成度の平均 ⇒ 120.5%	・達成度100%以上=4点 ・達成度80~99%=3点 ・達成度50~79%=2点 ・達成度49%以下=1点	4点
評価軸② 施策の進捗状況 <input checked="" type="checkbox"/> 順調(100%以上の達成度) <input type="checkbox"/> おおむね順調(80%以上の達成度) <input type="checkbox"/> やや順調でない(50~80%程度の達成度) <input type="checkbox"/> 順調でない(50%未満の達成度)	・成果指標のうち、農用地利用権設定面積については、法改正により、現行の「人・農地プラン」から令和6年度末に策定予定の「地域計画」へ移行する過程の中で、農地の集積・集約に関する理解等が深まっていると考えられる。 ・成果指標のうち、吉川産農産物購入の割合については、過年で開催しているイベント等の効果により、市民の地産地消の高まりが反映されているものと考えられる。	4点
評価軸③ 市民ニーズの反映度 <input checked="" type="checkbox"/> 反映できた <input type="checkbox"/> どちらかといえば反映できた <input type="checkbox"/> どちらかといえば反映できなかった <input type="checkbox"/> 反映できなかった	・市民意識調査結果では、年々、吉川産の農産物を購入していると回答した割合が増えており、概ね周知が図られていると思われる。	4点
評価軸④ 施策に対する事務事業の構成 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかといえば妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかといえば妥当でなかった <input type="checkbox"/> 妥当でなかった	・事務事業の構成としては、施策の目的を達成するに十分な内容である。ただし、農用地利用権設定については、令和7年度より制度が変更となるため、内容等の見直しが必要となる。 ※構成する事務事業については裏面に記載	4点
施策に関する現状と課題 ・農地は個人の資産であるため、必要以上の介入を図ることが難しい部分はあるが、農業者の高齢化と減少により、農地を適切に維持することが難しくなっていることもあり、耕作者及び地権者の危機感が日々高まってきている。 ・コロナ禍により、十分なイベント等の事業が実施できない中ではあったが、限られた事業を有効活用し、市民への周知に務めることが出来た。現在、全国的に地産地消の機運が高まっており、引き続き、多様化する市民ニーズに柔軟に対応していく必要がある。		総合評価 評価軸①~④の評価点の平均点 4点 (4点満点中)

今後の展開	<ul style="list-style-type: none"> ・第6次吉川市総合振興計画を計画的に推進するため、社会情勢等の変化に応じ実施計画の見直しを適宜行っていく。 ・市民ニーズの多様化に応じ、イベント等の見直しを徹底し、市民にとって必要な周知の機会の確保に努める。 ・国の制度変更により、農地の集積・集約化に関する方針等が根本的に変わるため、地権者及び耕作者に対する周知を徹底し、円滑な制度変更が出来るよう、体制を整備する。
-------	--

令和6年度 施策評価シート(令和4年度・令和5年度評価)

評価日: 令和6年9月30日

No.3-6

まちづくりの目標		第3章 安心と賑わいのまちづくり(生活・産業部門)	評価責任者	産業振興部長
基本事項	施策名	第6節 賑わいある商業の振興	所管部署名	産業振興部商工課
	施策の展開	1 経営の安定化	関連部署名	
		2 消費拡大・販路拡大につながる情報発信		
	関連する個別計画・方針等	吉川市産業振興計画	施策の目的	・市内商業が持続可能な経営の下で発展するとともに、創業が生まれやすい魅力ある環境をめざします。

指標名	単位	設定時の値(年度)	実績値①(年度)	実績値②(年度)	達成度	最終目標値(年度)
商店数	店	320	403	403	830.0% ★★★★★	330
		H28	R4	R5	達成された	R6
市内の商店を利用する市民の割合(市民意識調査)	%	79.9	75.8	75.6	-84.3% ★	85.0
		R3	R4	R5	達成度が低い	R8

評価方法	評価の理由・説明	評価点
評価軸① 施策の達成状況 施策成果指標の達成度の平均 ⇒ 372.8%	・達成度100%以上=4点 ・達成度80~99%=3点 ・達成度50~79%=2点 ・達成度49%以下=1点	4点
評価軸② 施策の進捗状況 <input checked="" type="checkbox"/> 順調(100%以上の達成度) <input type="checkbox"/> おおむね順調(80%以上の達成度) <input type="checkbox"/> やや順調でない(50~80%程度の達成度) <input type="checkbox"/> 順調でない(50%未満の達成度)	経済センサス活動調査による商店数(卸・小売業)は、建築材料、鉱物・金属材料、機械器具等の販売事業者が増加傾向である。一方で、市民意識調査による市内商店を利用する割合については、新型コロナウイルス等の影響による外出控えやオンラインショッピング需要等によりやや減少傾向となっている。	4点
評価軸③ 市民ニーズの反映度 <input type="checkbox"/> 反映できた <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえば反映できた <input type="checkbox"/> どちらかといえば反映できなかった <input type="checkbox"/> 反映できなかった	市民意識調査の回答によると、市内商店への魅力の中で、自宅から近いことを挙げている方が増加傾向となる一方で、市外店舗との比較で、品揃えや値段、駐車場を課題としている声も多いことから、商業団体等を通じて、引き続き情報提供に努める必要がある。	3点
評価軸④ 施策に対する事務事業の構成 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかといえば妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかといえば妥当でなかった <input type="checkbox"/> 妥当でなかった	施策の目的の達成に向け事務事業の構成は妥当であり、各事務事業の取組みが展開されることで施策の推進に繋がる十分な内容である。 ※構成する事務事業については裏面に記載	4点
施策に関する現状と課題 商業団体への傾聴によると、新型コロナウイルス感染症の影響により、外出控えやインターネットショッピング需要が増加し、対面型販売の市内小売店は、現在も苦しい状況が続いているとのことである。また、市民意識調査によると、市内商店を利用する割合が減少傾向となっており、インターネットショッピングや近隣の大規模商業施設に流れている傾向が伺える。なお、経済センサス活動調査によると、商店数(卸・小売業)は、建築材料、鉱物・金属材料、機械器具等の販売事業者数が増加しており、全体としては、増加傾向となっている。		総合評価 評価軸①~④の評価点の平均点 4点 (4点満点中)

今後の展開	市内商業団体では、市内事業者が共同で物販やプロモーション活動を行うイベントを適宜開催し、各個店の魅力向上に努めており、引き続き、イベント開催の周知等を支援する。また、地域経済活性化に向け、市民意識調査の結果を商業団体等を通じて各商店に伝えていく中で、市内商店の魅力向上を促進する。さらに、市内での創業者に対し、産業振興事業費補助金を通じて、創業支援に継続して取り組んでいく。
-------	---

令和6年度 施策評価シート(令和4年度・令和5年度評価)

評価日: 令和6年9月30日

No.3-7

まちづくりの目標		第3章 安心と賑わいのまちづくり(生活・産業部門)	評価責任者	産業振興部長
基本事項	施策名	第7節 活力ある工業の振興	所管部署名	産業振興部商工課
	施策の展開	1 経営の安定化	関連部署名	産業振興部企業誘致担当
		2 工業地整備の推進		
		3 企業の立地推進		
	関連する個別計画・方針等	吉川市産業振興計画	施策の目的	・経営の安定・持続と新たな創業の増加をめざします。 ・市内への立地を希望する企業の増加をめざします。

指標名	単位	設定時の値(年度)	実績値①(年度)	実績値②(年度)	達成度	最終目標値(年度)
工業事業者数	事業所	181	380	380	473.8% ★★★★	223
		R2	R4	R5	達成された	R8

評価方法	評価の理由・説明	評価点
評価軸① 施策の達成状況 施策成果指標の達成度の平均 ⇒ 473.8%	・達成度100%以上=4点 ・達成度80~99%=3点 ・達成度50~79%=2点 ・達成度49%以下=1点	4点
評価軸② 施策の進捗状況 <input checked="" type="checkbox"/> 順調(100%以上の達成度) <input type="checkbox"/> おおむね順調(80%以上の達成度) <input type="checkbox"/> やや順調でない(50~80%程度の達成度) <input type="checkbox"/> 順調でない(50%未満の達成度)	経済センサス活動調査によると、市内工業事業者数(製造業)は増加傾向となっている。特に、家具・装備品製造業、金属製品製造業、プラスチック製品製造業が前回調査より大幅な増加となり、工業事業者数全体を押し上げる結果となった。	4点
評価軸③ 市民ニーズの反映度 <input checked="" type="checkbox"/> 反映できた <input type="checkbox"/> どちらかといえば反映できた <input type="checkbox"/> どちらかといえば反映できなかった <input type="checkbox"/> 反映できなかった	新型コロナウイルス感染症の影響により市内事業者は大きな影響を受けたが、各事業者へのアンケート調査や傾聴を通じて求める支援策を検討し、状況に応じた様々な支援を行ったことにより、影響を受けた各事業者の一助になったものと考えている。	4点
評価軸④ 施策に対する事務事業の構成 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかといえば妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかといえば妥当でなかった <input type="checkbox"/> 妥当でなかった	施策の目的の達成に向け事務事業の構成は妥当であり、各事務事業の取組みが展開されることで施策の推進に繋がる十分な内容である。 ※構成する事務事業については裏面に記載	4点
施策に関する現状と課題		総合評価
市内製造業事業者は、大手メーカーの下請け企業として、各製品の重要な部品を製造している。コロナ禍では大きな影響を受け、現在でも多くの事業者がコロナ前の水準までは回復していない。また、都心へのアクセスの良さなどから、市内への立地を希望する事業者はいるものの、希望に沿う工業用地が不足している状況となっている。		評価軸①~④の評価点の平均点 4点 (4点満点中)

今後の展開	産業フェア等のイベントを通して、挑戦する事業者を支援し新たな事業の展開や連携に繋げていく必要がある。また、産業振興事業費補助金を通じて、創業支援、販路拡大、新商品製作支援、人材確保、事業者連携などを継続して支援する。工業用地の確保については、引き続き、埼玉県や他部署等の関係機関との情報共有を図っていく。
-------	--

令和6年度 施策評価シート(令和4年度・令和5年度評価)

評価日: 令和6年9月30日

No.3-8

まちづくりの目標		第3章 安心と賑わいのまちづくり(生活・産業部門)		評価責任者	産業振興部長
基本事項	施策名	第8節 誰もが働きやすい環境づくり		所管部署名	産業振興部商工課
	施策の展開	1	就労機会の拡大	関連部署名	
		2	勤労者福利厚生の実践		
	関連する個別計画・方針等	吉川市産業振興計画		施策の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・就労機会の拡大と雇用の安定をめざします。 ・多様な勤労者が働きやすい労働環境の充実をめざします。

指標名	単位	設定時の値(年度)	実績値①(年度)	実績値②(年度)	達成度	最終目標値(年度)
市内求人情報誌掲載企業数	件	298	260	282	-800.0% ★	300
		R2	R4	R5	達成度が低い	R8
多様な働き方実践企業認定件数	社	34	39	42	50.0% ★★	50
		R2	R4	R5	達成度がやや低い	R8

評価方法	評価の理由・説明	評価点
評価軸① 施策の達成状況 施策成果指標の達成度の平均 ⇒ -375.0%	・達成度100%以上=4点 ・達成度80~99%=3点 ・達成度50~79%=2点 ・達成度49%以下=1点	1点
評価軸② 施策の進捗状況 <input type="checkbox"/> 順調(100%以上の達成度) <input checked="" type="checkbox"/> おおむね順調(80%以上の達成度) <input type="checkbox"/> やや順調でない(50~80%程度の達成度) <input type="checkbox"/> 順調でない(50%未満の達成度)	・成果指標については、企業側の求人の有無に影響されるが、求人の情報量は十分保っていると考えられる。多様な働き方実践企業の認定企業数も毎年増加している。	3点
評価軸③ 市民ニーズの反映度 <input type="checkbox"/> 反映できた <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえば反映できた <input type="checkbox"/> どちらかといえば反映できなかった <input type="checkbox"/> 反映できなかった	・就職面接会や就活セミナー、個別就活相談におけるアンケートでは事業に対し高評価をいただいている。また、求人情報誌は配架後の残数が減少していることから、就労に関する多様な支援を求める市民ニーズに応えられているものと捉えている。	3点
評価軸④ 施策に対する事務事業の構成 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかといえば妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかといえば妥当でなかった <input type="checkbox"/> 妥当でなかった	・事務事業の構成としては、施策の目的を達成するに十分な内容である。 ※構成する事務事業については裏面に記載	4点
施策に関する現状と課題 ・人材確保が困難な状況にある一方、失業者数も依然高い水準である。また、ライフステージや希望に応じた多様な働き方が求められている現状にある。雇用問題はハローワークがその主な役割を担っているが、市内事業所の雇用安定や市民の就労支援として、市においても雇用情報の提供、就活相談、就職面接会等による求人・求職者のマッチングの機会を提供することが求められている。		総合評価 評価軸①~④の評価点の平均点 3点 (4点満点中)

今後の展開	<ul style="list-style-type: none"> ・第6次吉川市総合振興計画を計画的に推進するため、社会情勢等の変化に応じ実施計画の見直しを適宜行っていく。 ・ニーズの多様化に応じ、情報周知やイベントの見直しを行い、就労機会の確保に努める。
-------	--

令和6年度 施策評価シート(令和4年度・令和5年度評価)

評価日: 令和6年9月30日

No.3-9

まちづくりの目標		第3章 安心と賑わいのまちづくり(生活・産業部門)	評価責任者	政策室長	
基 本 事 項	施策名	第9節 シティプロモーションの推進	所管部署名	政策室	
	施策の展開	1	魅力の再確認と発掘	関連部署名	産業振興部商工課
		2	新たな魅力の創出		産業振興部農政課
		3	観光事業の充実		
		4	戦略的なシティプロモーション活動の推進		
関連する個別計画・方針等	吉川市産業振興計画 吉川市シティプロモーション基本方針 吉川市シティプロモーション戦略プラン	施策の目的	・本市への愛着心が向上するとともに、本市の認知度が向上することで、まちの活力が維持され、安定的かつ持続的に発展することをめざします。		

指標名	単位	設定時の値(年度)	実績値①(年度)	実績値②(年度)	達成度	最終目標値(年度)
人口	人	73,217	72,872	72,580	-25.1% ★	75,757
		R3.4.1	R4	R5	達成度が低い	R9.4.1
市への愛着度(市民意識調査)	%	76.8	75.2	77.9	34.4% ★	80.0
		R3	R4	R5	達成度が低い	R8

評価方法	評価の理由・説明	評価点
評価軸① 施策の達成状況 施策成果指標の達成度の平均 ⇒ 4.6%	・達成度100%以上=4点 ・達成度80~99%=3点 ・達成度50~79%=2点 ・達成度49%以下=1点	1点
評価軸② 施策の進捗状況 <input type="checkbox"/> 順調(100%以上の達成度) <input checked="" type="checkbox"/> おおむね順調(80%以上の達成度) <input type="checkbox"/> やや順調でない(50~80%程度の達成度) <input type="checkbox"/> 順調でない(50%未満の達成度)	人口については、一時的に減少傾向にあるものの吉川美南駅東口周辺地区の開発に伴い人口増が想定されている。そのような中で、市への愛着度は上昇に転じており、施策の進捗状況としてはおおむね順調である。	3点
評価軸③ 市民ニーズの反映度 <input type="checkbox"/> 反映できた <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえば反映できた <input type="checkbox"/> どちらかといえば反映できなかった <input type="checkbox"/> 反映できなかった	市への愛着度や認知度に対する意識の把握のため市民意識調査において継続的な調査を行っており、その調査結果などをもって「シティプロモーション基本方針」「シティプロモーション戦略プラン」の改定を行った。	3点
評価軸④ 施策に対する事務事業の構成 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかといえば妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかといえば妥当でなかった <input type="checkbox"/> 妥当でなかった	本施策では「愛着心の向上」「認知度の向上」に向け、市の様々な事業を「シティプロモーション戦略プラン」において位置づけており妥当である。 ※構成する事務事業については裏面に記載	4点
施策に関する現状と課題 ・吉川市の「魅力」は地勢や市民意識調査などを踏まえると「住みよさ」が挙げられる。そうしたことから具体的な取組を内容とする戦略プランを策定し、愛着心と認知度の向上を重点テーマに「『住みよさ』よし、よしかわ」を合言葉に、シティプロモーションに取り組んでいる。 ・吉川市では全国的に注目される観光的な資源や大規模商業施設など、他の自治体との比較の中で突出したものがない状況である。そうした中で幸福度や愛着心が他市町村よりも高い値を示しているのは「住みよさ」「生活の便の良さ」「なまず」といった吉川市の特色に由縁があることが考えられる。こうした特色にアプローチする取組を展開し、市民により深い愛着を持ってもらえるかが課題である。		総合評価 評価軸①~④の評価点の平均点 3点 (4点満点中)

今後の展開	・吉川市のシティプロモーションを進めるに当たっての合言葉「『住みよさ』よし、よしかわ」を掲げ、「愛着心の向上」「認知度の向上」に向け、市の様々な事業を「シティプロモーション戦略プラン」において位置づけており、今後も指標の進捗管理を行い、庁内の連絡会議において共通認識を図りながら機運醸成に向け推進をしていく。
-------	--

